

経営比較分析表

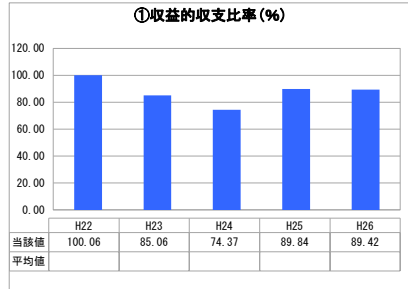
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.38	87.92	1,296

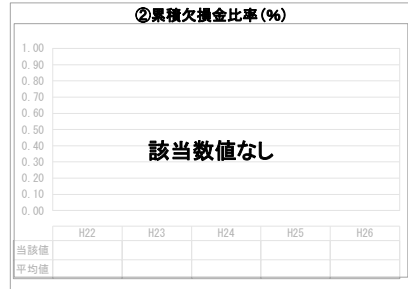
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,760	19.99	488.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,415	2.47	3,002.02

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

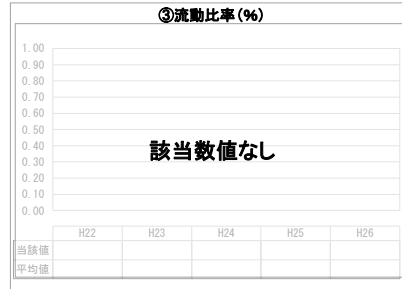
1. 経営の健全性・効率性



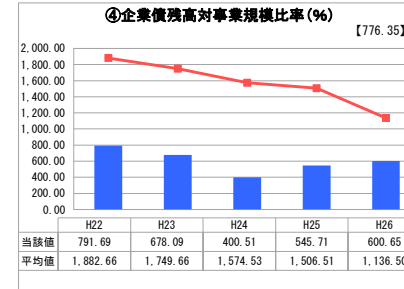
「単年度の収支」



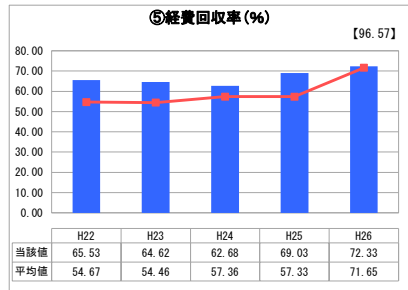
「累積欠損」



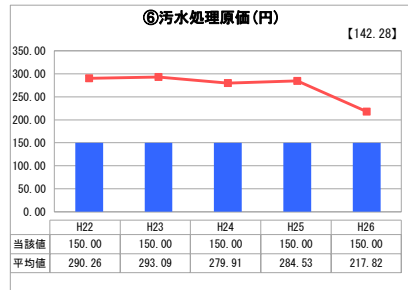
「支払能力」



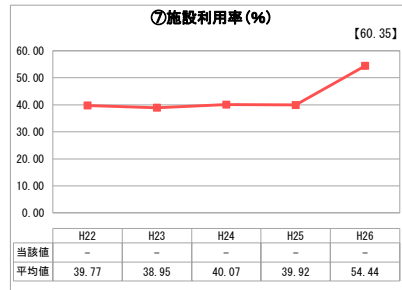
「債務残高」



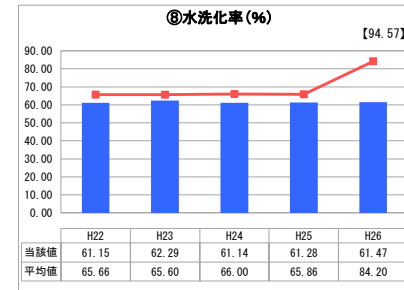
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

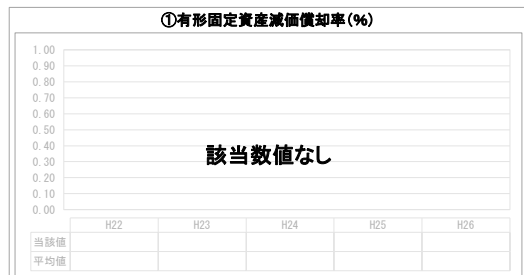


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

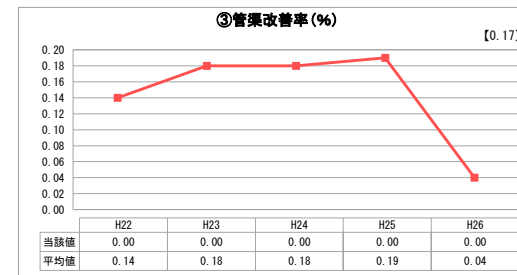
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債務高対事業規模比率は類似団体内で低い水準、経費回収率は類似団体においては、若干高めの水準となっていますが、経費収支比率が100%以下と単年度収支が赤字であることから、料金改定も含め経営改善に向けた取り組みが必要な状況にあります。また、水洗化率も類似団体内と比べ低めな状況であることから、使用料収入の向上を図るためにも、下水道への接続を図る取り組みが必要です。

2. 老朽化の状況について

本町においては、平成11年度の供用開始で管路施設については、供用開始後、約17年と比較的新しい施設であることから、現在、老朽化対策は実施しておりません。しかし、今後、様々な事業の実施や施設の老朽化に伴い増大する維持管理費を踏まえると、施設の長寿命化や計画的な更新等を実施していく必要があります。

全体総括

今後は、施設の維持管理が中心となっていくことから、将来にわたり安定的な下水道事業を運営していくには、経営状況と財政状況の明確化が不可欠です。本町においては、まず、地方公営企業法を適用し、健全かつ安定的な事業経営を構築していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。